

平成 29 年度サービス第三者評価（（公益社団法人全国有料老人ホーム協会）

法人名	株式会社日本ケアリンク	ホーム名	せらび小金井	ID	2932
	評価機関	株式会社ケアシステムズ		評価日	

スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	B	A	2.3.3	B	A	6.1.2	B	B
1.1.2	A	A	2.3.4	A	A	6.1.3	C	B
1.1.3	A	B	2.3.5	A	A	6.2.1	A	A
1.1.4	B	B	2.3.6	A	A	6.2.2	A	A
1.2.1	B	B	2.3.7	非該当	非該当	6.2.3	A	A
1.2.2	A	A	2.3.8	非該当	非該当	6.2.4	C	B
1.2.3	A	B	2.3.9	A	C	6.2.5	A	A
1.3.1	B	B	2.3.10	A	B	6.2.6	B	B
1.3.2	A	B	2.3.11	A	A	6.2.7	A	A
1.3.3	A	B	2.4.1	B	B	6.2.8	A	C
1.4.1	B	B	2.4.2	C	C	6.2.9	A	A
1.4.2	A	A	2.4.3	A	A	6.3.1	B	B
1.4.3	A	A	2.4.4	A	A	6.3.2	B	B
1.4.4	A	B	2.4.5	C	C	6.3.3	A	A
1.4.5	B	B	2.4.6	B	B	7.1.1	A	A
1.4.6	A	B	3.1.1	A	A	7.1.2	A	A
1.4.7	A	A	3.1.2	A	A	7.2.1	B	B
1.4.8	B	B	3.1.3	B	B	7.3.1	B	B
1.5.1	C	C	3.1.4	A	A	7.3.2	A	A
1.5.2	A	A	3.1.5	非該当	非該当	7.3.3	A	A
1.5.3	A	B	3.1.6	A	A	7.3.4	A	A
2.1.1	A	A	3.1.7	A	A	7.4.1	A	A
2.1.2	B	B	4.1.1	A	A	7.4.2	A	A
2.2.1	A	A	4.1.2	C	C	7.4.3	B	B
2.2.2	A	A	4.1.3	A	A	7.4.4	A	A
2.2.3	A	A	4.1.4	A	A	7.4.5	B	B
2.2.4	A	A	4.2.1	A	A	7.5.1	A	A
2.2.5	非該当	非該当	4.2.2	B	B	7.5.2	A	A
2.2.6	A	A	5.1.1	A	A	7.5.3	A	A
2.2.7	A	A	5.1.2	B	B	7.5.4	B	B
2.2.8	B	B	5.2.1	B	B	7.5.5	B	B
2.2.9	非該当	非該当	5.2.2	A	A	7.5.6	B	B
2.2.10	非該当	非該当	5.2.3	A	A	7.5.7	A	A
2.2.11	A	A	5.2.4	A	A	7.6.1	A	A
2.3.1	B	B	5.2.5	A	B	7.6.2	A	A
2.3.2	B	B	6.1.1	A	A	7.6.3	B	B

評価機関所見（評価機関記入シート）

◆優れた取り組みと思われる点	
スケルNo.	所 見
2-1-2	ハウス長主導のもとリーダークラスの職員に対して年間計画のアンケートを行い、現場目線で年間計画が着実に実施できるように意見の把握に努めている。現場の声を年間計画に反映させることで、利用者の意向や要望をよりハウス運営に反映させることができるようになってきている。さらに、現場の意向をもとに新たな事業主体（ソラスト）と運営計画のすり合わせを進めている。
2-3-4	法人として毎年お客様満足度調査を実施しており、結果は各施設をはじめ法人内で共有しハウス運営に反映させている。また、前年との比較も合わせてホームページ上で公表し、事業の透明性も担保している。そのほか、食事嗜好調査を毎年10月～11月に実施して意向や要望把握し、日々の献立に反映させることに取り組んでいる。さらに、今年度より管理栄養士を採用し、満足度向上に向けた取り組みが進められている。
7-3-2	入浴や入浴支援では、入居者が更衣室で他の利用者と一緒にならないように配慮したり、一人ひとり湯を交換したりなど、丁寧な対応を定着させている。よって、入居者一人ひとりが入浴に費やす時間は概ね45～60分になっており、ゆっくり入浴できる環境が整っている。それらを円滑に実践できるように、入浴の時間帯を朝～晩迄と長く設定している。
7-6-3	入居者一人ひとりが適切に服薬できるように業務手順を設け、手順書に沿った薬の管理に取り組んでいる。常用薬は調剤薬局より週1回搬入され、看護師のチェックのもと入居者一人ひとり分を朝・昼・夕に色分けした個別の薬箱で保管している。さらに、与薬前には職員が再チェックし、与薬時には名前を確認して服薬確認する流れとしている。服薬後の空き袋も保管しており、看護師が再度チェックする体制を整えている。誤薬防止に向けた適切な管理業務が定着していることがうかがえる。
◆さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点	
スケルNo.	所 見
1-1-4	単年度事業計画は策定されているが、中期的な課題を明示し年度をまたがる事業を円滑に推進するための中期計画の策定が望まれる。中期計画を策定することで職員に事業の方向性を示唆したり、モチベーションの向上につながったりすると考えられる。さらに、単年度の事業計画についても進捗状況を月次や四半期でチェックし、見直しができる体制を構築することが期待される。
1-5-1	入居者の権利擁護やコンプライアンスの順守などに関する法人（ハウス）としての指針を明示することが望まれる。また、ハウス内に意見箱の設置や苦情相談等の掲示を設けることも必要とされる。意向や要望などは入居者が直接言いにくる環境になっていることはうかがえるが、苦情解決の基本を整えることも必要とされる。開設3年目を迎え、リスクマネジメントの体制をさらに充実させることが望まれる。
2-1-1	ホームでは、日々「理念の唱和」を行なって理念の共有や周知に努めている。また、入居者や家族に対してはパンフレットに記載して伝えている。さらに、入居者をはじめ関係者へ理念の理解を促す取り組みを検討されたい。ハウス内に理念を明示することで、サービスを提供する職員、サービスを受ける入居者が「せらび小金井」についても共通認識が持てると考えられる。
5-2-5	食事摂取量・水分摂取量・排泄表等のチェック表などが完備していることを踏まえ、口腔ケアのチェック表も設けることが望まれる。現在、訪問歯科による口腔ケアは希望者のみ（約半数）となっている。他の利用者は部屋に誘導して準備する段階で留まっている。口腔ケアに関するアセスメントをさらに充実させ、定適切な口腔ケアが出来ているかもチェックされたい。
6-2-3	ケアプランは、アセスメントに基づいて短期目標・中期目標が立てられているが、さらに実際の支援と連動しているかを確認することが望まれる。日々の支援内容の根拠がケアプランの明示されていることを職員に周知徹底させることが必要とされる。職員にケアプランを分かりやすく説明したり、ケアプランに沿った支援がなされているかを確認する機会を設けることが望まれる。